

多くの来館者とともに祝う

～ フェライト子ども科学館入館者90万人達成～



これから科学館を満喫します

11月6日、フェライト子ども科学館の入館者90万人達成の記念セレモニーが行われました。平成10年10月のオープンから18年、90万人目の入館者となったのは山形県最上郡金山町から訪れた中島奏音くん（小学校5年）でした。奏音くんは、横山市長と母親の邦子さんと一緒にくす玉を割ったあと、記念品の地球儀を受け取りました。科学が大好きな奏音くんは、この日が11歳の誕生日だったこともあり、二重三重の喜びを感じている様子で、今後も近くにきた際は、科学館に遊びに来たいと話してくれました。

農の国・日本の平和を願い

～ 宮中祭祀・新嘗祭献穀式～



佐藤喜作さん(右)と次女の山田まどかさん(坂下門前にて) 一部を担当できとても光栄です」と話してくれました。

10月27日、東京都千代田区にある皇居で举行された新嘗祭献穀式に、当市より佐藤喜作さん（鈴）が出席し、今秋収穫された新穀の粟を納めました。新嘗祭は、天皇が日本各地で収穫された五穀（米、麦、粟、豆、黍）を天神地祇の神々に共食される宮中最重要祭祀で、勤労感謝の日の11月23日に行われました。本年、秋田県では鹿角市から米が献穀され、当市から佐藤さんが粟を献穀しました。佐藤さんは「粟栽培の経験はなかったが、農の国・日本の平和を願う皇室行事の一部を担当できとても光栄です」と話してくれました。

統合に係る議案の議決を受けて

～ 第1回 象潟地域3小学校統合準備委員会開催～

11月7日、象潟地域3小学校統合準備委員会が開催され、3小学校の校長、教頭、PTA役員、学校運営協議会委員や3地域の自治会代表の計21人が会し、平成30年4月の統合に向けた準備を始めました。

第1回目となる統合準備委員会では、会則の承認、正副委員長の選任を経て、統合後の教育目標や教育課程などについて協議する「教育部会」、児童の校内外での生活の約束ごとなどについて協議する「学校生活部会」、PTAの会則などについて協議する「PTA部会」の3つの作業部会を置くことが確認されました。



全委員が出席し活発な意見交換が行われました

たくさんの笑顔が咲く

～ いんない祭り2016～

11月3日、院内小学校を会場に「いんない祭り2016」が行われ、院内小児童ならびに多くの地域住民が参加しました。これは院内地区地域振興協議会と院内小が共催する地域に定着しているイベントです。

今年も児童らは各学年にわかれ、日々発見している地域の話や、あらゆる問題等に向き合い導きだした答えを演劇や歌で表現しました。また、プラボー中谷氏をお招きしたマジックショーでは、明らかに「いかさま」とわかるマジックやコミカルなトークに会場は爆笑の渦へと飲み込まれていました。



プラボー中谷氏（上）。団結力で魅せた6年生（下）

アウトドア流防災ガイドによる講演会

～ 市民講座 まなびいばーく 第2回防災力アップ講座～



倒れた方を抱き上げる方法なども伝授（上段）

11月12日、象潟公民館を会場に「命を守るいつもの暮らしの中の防災」と題しての防災力アップ講座が開催されました。講師は、阪神淡路大震災での被災体験とアウトドアの知識を生かした講演活動を展開しているあんどろりすさんで、身近な物や子育てグッズなどを防災グッズにする方法などを実演しました。

講演会は、市PTA連合会との共催事業として開催され、市PTA関係者のほか親子連れや教職員など約80人が参加し、日頃からの防災意識の大切さと、状況に応じた避難行動のためのヒントを得る機会となりました。

津波から命を守るために

～ 地震・津波防災訓練～



速やかに！高い所へ！「津波避難ポーズ」

11月4日、秋田県沖を震源とする大地震が発生し、沿岸部に大津波警報が発令されたという想定で、地震・津波防災訓練が実施されました。時折強い雨が降る中、防災無線を聞いた多くの市民は、大津波の発生に対し、自らの「命」を守るために何をすべきかを考えながら避難場所となる象潟小学校屋上に集まりました。

今回の訓練は、内閣府と連携して実施する実働訓練に該当し（全国で10市町が対象）、内閣府の職員や報道機関なども見守るなか、訓練を通じて問題点を探るなど内容の濃い訓練となりました。